

【別紙様式3】平成27年度 環境生活部 業務執行計画

| | | | | | | | | | | |
|----------|-------------------------------|-----------------------|---------|-----------------------|-----------------|-----------------------|----------------------------------|------------------------------|----------|--|
| ＜基本情報＞ | | | | | | | | | | |
| 施策名 | 国内外を魅了する北海道文化の創造・発信とスポーツ活動の推進 | | | | | | <input type="checkbox"/> 内部等管理業務 | 施策コード | 03 - 11 | |
| 計画等の位置付け | 総合計画 | <input type="radio"/> | 未来づくり戦略 | — | 前年度に二次政策評価意見を付与 | <input type="radio"/> | 所管部等名 | 環境生活部 | | |
| | 地域重点プロジェクト | — | 特定分野別計画 | <input type="radio"/> | | | 作成責任者名 | 環境生活部長 宮川 秀明 | | |
| | | | | | | | 照会先グループ・内線 | 文化・スポーツ課調整グループ 内線(24-416) | | |
| | | | | | | | | 関係課名 | 文化・スポーツ課 | |

＜計画：Plan＞ 業務目標の設定

| | | |
|-------------------|--|---|
| 1 業務目標及び今年度の取組 | (1)業務目標 【当該施策分野において目指すべき具体的な姿】 | (2)今年度の取組 【予算や組織改編等への反映状況】 |
| | <p>・「スポーツの力」をキーワードとし、人づくり・地域づくりを進める活力ある「スポーツ王国北海道」の実現をめざす。</p> <p>・北海道を道民一人ひとりが心の豊かさを実感できる地域社会とするため、優れた自然環境、独自の歴史、多彩な生活様式などに根ざした個性的な地域文化を創造し発展させていくとともに、すべての人が文化を享受することのできる生活文化圏を築くことをめざす。</p> | <p>＜主な取組＞</p> <p>①スポーツの振興：五輪・冬季競技の体験教室実施、親対象の講習会開催、総合型クラブマネジメント講習会・全道スポーツ連携会議の開催、ジュニアの有望選手発掘・育成、スポーツキャリア協議会の運営・引退選手の活用、女子カーリングアカデミーの運営</p> <p>②文化の振興：文化団体や芸術文化公演等への支援、文化分野の顕彰、若手アーティストによる公演、世界遺産登録に向けた推薦書作成、国際的合意形成事業実施、縄文文化に係るパネル・出土品の展示やセミナー・シンポジウムの開催</p> <p>(新たな取組等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道博物館と道内博物館等とのネットワークによる北海道の自然・歴史・文化等の発信を強化する。 東京五輪に向け、本道の特色ある文化を国内外に発信する。 スポーツの振興と地域活性化を図るため、東京五輪など国際大会の合宿誘致に向けた情報収集やPR活動に取り組む。 北海道博物館の効果的・効率的な運営形態を検討するため、北海道教育委員会と連携し博物館等の管理・運営のあり方検討会議を設置した。 (組織体制等の見直し) アイヌ文化の調査研究の機能の充実を図るため、北海道開拓記念館と道立アイヌ民族文化研究センターを統合し、平成27年4月に北海道博物館を開設する。 東京五輪の波及効果をスポーツ振興などに結びつける新たな業務に対応するため、オリンピック・パラリンピック連携室を設置し、組織体制を整備する。 |

| | | |
|----------------|--|--|
| 2 前年度意見への対応 | (1)前年度「改善意見」 【二次政策評価における「5改善意見」の内容】 | (2)改善意見への対応 【前年度評価「5改善意見」への対応状況】 |
| | <p>(具体の意見内容)</p> <p>【総計】「新・北海道総合計画」に掲げる「心豊かに暮らす北海道ライフスタイルの形成」の一層の推進を図るため、スポーツ活動の推進等を通じて、本道の魅力あるライフスタイルの実現に向けて、より実効性の高い取組となるよう検討すること。</p> <p>【公約】</p> <p>【行財政改革】</p> <p>【進捗状況】</p> <p>【前年度二次意見】</p> <p>【指標設定】</p> <p>【重点課題】</p> <p>【その他】</p> <p>【その他：人口減少】人口減少問題への対応の視点を踏まえ、スポーツ大会や合宿の誘致などによる交流人口の拡大に向け、より実効性の高い取組となるよう検討すること。</p> | <p>(具体の主な取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツの振興と地域活性化を図るため、東京五輪など国際大会の合宿誘致に向けた情報収集やPR活動に取り組む。 東京五輪の波及効果をスポーツ振興などに結びつける新たな業務に対応するため、オリンピック・パラリンピック連携室を設置し、組織体制を整備する。 アイヌ文化の調査研究の機能の充実を図るため、北海道開拓記念館と道立アイヌ民族文化研究センターを統合し、平成27年4月に北海道博物館を開設する。 北海道博物館の効果的・効率的な運営形態を検討するため、北海道教育委員会と連携し博物館等の管理・運営のあり方検討会議を設置した。 なお、現行の博物館法では、登録博物館の設置主体に地方独立行政法人は含まれていないため、地方独立行政法人化の検討については、博物館法の改正を踏まえて行うこととする。 <p>・「本道における人口減少問題に対する取組指針」に基づき、交流人口拡大のため、国際的なスポーツ大会や合宿誘致に取り組むほか、アイヌ文化や縄文文化など本道の地域文化の発信に取り組む。</p> |

| 3 成果指標の設定 | (1)定量的指標の設定 【「1(1)業務目標」の達成状況を把握できるデータによる成果】 ※「H27目標値」欄の()表示は、経過年としての参考値 | | | | | | | | | |
|--------------|---|-----|--------|--------|------|------|-----|---------|--|----------|
| | 定量的指標名 | 単位 | H27目標値 | 中長期目標値 | 目標年次 | 基準値 | 年次 | 新規/変更の別 | 同じ指標を掲げる関連計画 | 関連する主な取組 |
| | 1) 文化会館入館者数 | 万人 | (53.1) | 54 | H29 | 48 | H16 | | 新・北海道総合計画 | ② |
| | 2) 総合型地域スポーツクラブ設置市町村数 | 市町村 | (149) | 179 | H29 | 105 | H24 | | 新・北海道総合計画 | ① |
| | 3) 本道出身選手の夏季オリンピック出場者数 | 人 | — | 13以上 | H28 | 13 | H26 | | 北海道スポーツ推進計画(特定分野別計画) | ① |
| | 4) 本道出身選手の冬季オリンピック出場者数 | 人 | — | 54以上 | H30 | 54 | H24 | | 北海道スポーツ推進計画(特定分野別計画) | ① |
| | 5) 成人の週1回以上のスポーツ実施率 | % | (63.8) | 65 | H29 | 62 | H24 | | 新・北海道総合計画、北海道スポーツ推進計画(特定分野別計画)、スポーツ基本計画(国) | ① |
| | 6) 余暇時間(1日当たり) | 時間 | 7 | 7 | H29 | 6.93 | H18 | | 新・北海道総合計画 | ①、② |
| | 7) | | | | | | | | | |
| | 8) | | | | | | | | | |
| 9) | | | | | | | | | | |
| 10) | | | | | | | | | | |

| 3 成果指標の設定 | (2)定性的指標の設定 【数値指標ではカバーできない定性的な成果】 | | | | | | | | | |
|--------------|--|------------|--|--|--|--|--|--|--|----------|
| | 定性的指標の内容 | 客観的な分析の考え方 | | | | | | | | 関連する主な取組 |
| | 1) | | | | | | | | | |
| | 2) | | | | | | | | | |
| | 3) | | | | | | | | | |